

科目コード 126622a

配当学年 2・3・4

科目名 オーストラリアの社会と文化

教員名 岡村 徹

## 【授業の到達目標】

- ・平易な文献を読み、オーストラリア人の生活様式等について、理解できるようになっている。
- ・オーストラリアについて書かれた英語の総合教材を用い、言語と社会の関係が理解できるようになっている。
- ・オーストラリアの社会と文化をひと通り理解し、それを論じる基礎知識を得ることができている。
- ・日本とオーストラリアの社会文化を比較する方法について体得できている。
- ・言語を通してオーストラリアの文化を理解し、異文化を理解する力を養う。

## 【授業のテーマ】

オーストラリアの言語と社会

## 【授業概要】

オーストラリアの言語的世界を五つの角度から考え、言語と社会の分野について知識を増やす。毎回授業の冒頭で、オーストラリアについての小話をする。次にオーストラリアの文化を紹介する英文を総合教材を用いて読む。最後に毎回テーマが変わるが、ポイントとなる文化事象について議論する。具体的には、先住民語、英語、接触言語、地域社会言語、それに日本語の五つを対象とし、社会との関係について考える。

## 【準備学習】

授業中に指示する書籍を事前に読んでおくこと。  
毎回授業の最初に前回の授業内容に係るクイズを実施するので、復習をしておくこと。  
次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。

## 【授業計画】

- 第1回: オーストラリアってどんな国
- 第2回: オーストラリアの英語と社会(1)地域方言
- 第3回: オーストラリアの英語と社会(2)社会方言
- 第4回: オーストラリアの英語と社会(3)機能方言
- 第5回: オーストラリアの先住民語と社会(1)アボリジニの歴史と社会
- 第6回: オーストラリアの先住民語と社会(2)アボリジニの言語的世界
- 第7回: オーストラリアのピジンとクレオール(1)言語特徴
- 第8回: オーストラリアのピジンとクレオール(2)社会的威信
- 第9回: オーストラリアのコミュニティ言語(1)イタリア語とギリシャ語
- 第10回: オーストラリアのコミュニティ言語(2)中国語
- 第11回: オーストラリアの日本語(1)日本人との接触
- 第12回: オーストラリアの日本語(2)日本語教育
- 第13回: オーストラリア周辺の言語的世界(1)オーストロネシア諸語
- 第14回: オーストラリア周辺の言語的世界(2)非オーストロネシア諸語
- 第15回: 到達度の確認

## 【評価方法】

- ・授業中の発言や質問の内容(20%)
- ・到達度の確認(50%)
- ・授業への参加態度(20%)
- ・授業中の提出物(10%)

## 【テキスト】

初回の授業で指示する。  
(テキスト ISBN)

## 【参考文献】

染谷正一『Zoom in on Australia』(マクミランランゲージハウス)

## 【オフィスアワー】

適宜相談に応じるが、事前にアポイントを取ること。

## 【学生へのメッセージ】

毎回、授業の予習や復習の徹底化が望まれる。